

(6) 中音域からの指導

たて笛の導入期の指導で大切なことは、どの音域からはじめたらよいかです。はじめて笛を持った場合、笛を支えるのが精一杯で、指が硬直しやすく、運指が鈍くなりがちです。音穴をカバーする指が少ない音域からはじめるのが一番よいようです。

右手は笛の光に人を誘って交えよ
Musical notation with lyrics: su - i su - i su - i su - i

Musical notation with lyrics: su (su) su . su . su . su . su . su . su . su . su .

- 日本の音感にも たて笛の 指導を とおして ふれさせたい。

(いちばんほしみつけた) わらべ歌
Musical notation with lyrics: (いちばんほしみつけた) わらべ歌

- タンギングをつけるとアクセントの吹き方になりがちです。静かにやさしくゆっくりと呼気させる。

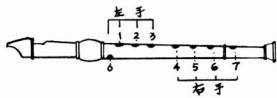
Musical notation with lyrics: su . su . su . su . su . su . su . su . su .

- 「いちばんほしみつけた」をA, Gで吹かせる。
- 次にH, A, Gの音を美しく吹けるようになったら、3音で即興的にふしづくりをする。また教師の示す、3音内のふしを模倣奏させる。(教師は児童の後から吹いてやる。その方が児童の注意が集中する。)
- 次の曲を輪奏してみましよう。1音1音を大切に吹く

(ほたるこい) わらべ歌
Musical notation with lyrics: ほ ほ ほ ほる こい あちのみずはにかいそ

Musical notation with lyrics: こちのみずはあまいそ ほ ほ ほ ほる こい

- 指番号(たて笛に少しなれてから指番号を教える。)



- C, Dの練習(Dの音は一番不安定な音なので、特に呼気を強くしないように注意して吹かせる。)

Musical notation with lyrics: su . su . su . su . su . su . su . su .

- C, Hの練習(指のチェンジが難しく雑音が入りやすいので、1, 2の指の動きを同時にできるようにする)

Musical notation with lyrics: su . su . su . su . su . su . su . su .

- 和音奏をとおして、3度のひびきを感得する。(特に3年生ではD→Gまでの運指を徹底するとともに、美

しい音で平易な旋律を吹けるようにしたい。)

レガート奏
Musical notation with lyrics: su - i su - i su - i su - i su - i

- レガート奏、これまでノン・レガート奏(1音1音にタンギングをつける。)の吹き方であったが、初歩の段階からレガート奏ができるようにする。音楽に表情をつけることになり、音楽語法として他の旋律にも応用できるようになる。語法を豊かにすることが、音楽活動をより主体的に創造的にすることです。

レガート奏をどこに入れてよいか児童に試奏させる。
Musical notation with lyrics: (ちよう ちよう)

Musical notation with lyrics: su . su . su . su . su . su . su . su . su .

- たて笛奏にリズム伴奏を工夫する。

タンギングやドブフはとて即興的にリズム伴奏をつけよう。(♩で吹けはじり)
Musical notation with lyrics: (タンギング)

(7) 低音域の指導

中音域が十分吹けるようになったら、低音域に入る。呼気をさらにやわらかに、静かに吹かなければならない。特に最低音Cが出しにくいので、3年生では下行旋律に出てくるのみにとどめること。

Musical notation with lyrics: su - i . su - i . su - i . su - i . su - i . su - i

ゆりやけこぼけ わらべ歌
Musical notation with lyrics: - びり やけ こぼけ あしたてんきにな - れ

Musical notation with lyrics: 呼吸に注意し美しい音を出す。

4. おわりに

以上3年生のたて笛の指導について述べましたが、留意点として次の3点をあげておきます。

- (1) 笛を大切にすることを癖をつける。(取り扱い等も)
- (2) コントロールされた呼気でピッチを合わせる。同一メーカーの笛をそろえることも大切なことです。
- (3) 単旋律を吹く時はできるだけ伴奏をつける。